

品名	液化塩素	国連番号	1017
----	------	------	------

災害拡大防止措置

特記事項	処理剤	消石灰、苛性ソーダ溶液（約15%）、ソーダ灰
------	-----	------------------------

- ① 皮膚に接触すると炎症を起こす。吸入すると咳が出て、呼吸困難となり、死亡することがある。
- ② 大気中で沸騰し、塩素ガス（黄緑色）を発生する。
- ③ 漏洩している容器に散水してはならない。
- ④ 活性が強く、漏洩したガスは、多くの金属、無機化合物、有機化合物などと急激に反応する。
- ⑤ 極めて毒性が強いため保護具（ハロゲンガス用呼吸保護具、ゴム製保護手袋）を着用しないで立ち入らない。人体、家畜、農作物に害を与える。
- ⑥ 容器内充填圧力：20℃で0.567MPa（ゲージ圧）
比重：塩素ガスは2.488（0℃、空気=1）液化塩素は1.4685（0℃、水4℃=1）
色・におい：塩素ガスは黄緑色で窒臭性の刺激臭、液化塩素は橙黄色。

漏洩・飛散したとき

- ① 付近の人に大声で警報し、風上に避難させる。
- ② 漏洩防止には、必ず保護具を着用して風上から作業する。
- ③ 周囲にロープを張る等して、関係者以外の人が立ち入らないようにする。
- ④ ガス状の洩れを消石灰の散布により吸収させる。液状態で洩れだしたときは消石灰で周囲を囲い、拡散を防ぐとともにこの上にゴムシートを掛け、その上に更に消石灰を散布して吸収させる。
- ⑤ 洩れた容器に散水すると漏洩箇所の腐食を促進するとともに、塩素の気化速度を早めるので行ってはならない。

周辺火災のとき

- ① 速やかに、容器を安全な場所に移す。
- ② 移動不可能な場合は、火災に近い容器に対し、容器壁、及びその周囲に散水して冷却する。
- ③ 荷役中の場合は直ちにポンプを止める。

引火・発火したとき

- ① 塩素自体は、支燃性である。
消火剤：粉末、炭酸ガス、噴霧または泡消火を行い、空気を遮断することが有効。

救急措置

- ① 皮膚に付着した場合、凍傷を起こす恐れがあるので、汚染された衣服を直ちに取り除き、接触部は多量の流水で少なくとも15分間以上洗浄する。
- ② 眼に入った場合、直ちに多量の水で15分間以上洗い流し、速やかに医師の手当を受ける。
- ③ 吸入のときは、被災者を新鮮な空気の通風のよい場所に移す。
呼吸が止まっている場合は、衣服をゆるめて呼吸気道を確保した上で、人工呼吸を行う。呼吸が弱くなっている場合、あるいは咳が激しく出て呼吸困難な場合は酸素吸入を施す。
速やかに医師の手当を受ける。

品名	液化塩素	国連番号	1017
----	------	------	------

該当法規・危険有害性

消 防 法						毒物及び劇物取締法			高圧ガス保安法		火薬類取締法			道路法	
類 別						品 名 (法別表)	毒物	劇物	特定毒物	一般	液化	火薬	爆薬	火工品	施行令第19条の12、13に該当
第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類					指定可燃物	高圧ガス				
							●			●					●

特 性	危 険 性					有 害 性					環 境 汚 染 性		性 状	
	禁水性	毒性	爆発性	支燃性	可燃性	有害ガス発生			目・皮膚に 触れると危険	河川への 流入注意	固 体	液 体	気 体	水 溶性
						常 温	加熱時 火災時	水 に 接 触						
	●	●		●		●	●		●	●		●		

事故発生時の応急措置

- ① 車を、安全な場所に移動する。(人家や人ごみを避け、できるだけ交通の障害にならない場所に移動し、エンジンを停止し、車止めをする。)
- ② 事故の発生を大声で付近の人に知らせ、下記事項を消防署及び警察署、会社に通報し、人を風上に避難させる。(初期措置等にて自ら通報が出来ない場合には、付近を通行している人に頼む。)
- ③ 道路等にロープを張り、車両や人の進入を防止する。
- ④ 火気厳禁。
- ⑤ 近くの火気、可燃物を取り除いてから、保護具を着用し、消石灰で漏洩箇所を覆う。大量に噴出する場合は防毒マスクでも危険であるので注意。
(使用保護具：防毒マスク(ハロゲンガス用)、または空気呼吸器、ゴーグル型保護眼鏡、
ゴム製保護衣、ゴム製保護手袋、ゴム製長靴)

緊急通報

119 (消防署) 110 (警察署) 高速道路の非常電話

〔緊急通報例〕

1. いつ ○○時○○分頃
2. どこで ○○市○○地区(国・県・市)道○○線○○付近で
3. なにが 「液化塩素(高圧ガス、支燃性・毒性ガス・劇物)」が
4. どうした 漏れています
5. ケガ人は ケガ人(中毒者)がいます(救急車をお願いします)、ケガ人(中毒者はいません)。
6. 私の名前は ○○運送会社 ○○です

緊急連絡 (特に休日・夜間に確実に連絡が取れる部署の電話番号を記入する)

荷主会社		運送会社	
住 所		住 所	
電 話	平日：昼間 休日：夜間	電 話	平日：昼間 休日：夜間